

一般質問

17人の議員が市の考えを問う



質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

武田 孝三

①ふるさと納税で丸亀を元気に②子ども食堂を「地域福祉の集いの場」に③南中学校区における都市公園整備について

竹田 英司

①国道438号バイパス事業に伴う飯山南コミュニティセンター整備②子育て関連③ポータル事業

東 由美

①支え合える地域づくり②男女共同参画③英語教育

大西 浩

①給食費無償化での子育て支援②働き方改革

香川 勝

①丸亀市綾歌総合文化会館について②新丸亀市民会館整備について③綾歌市民総合センターについて

水本 徹雄

①オール丸亀での健康（康）

増進に向けた取り組み②築城420周年を迎える丸亀城の魅力創出③「仮称」わかりやすい予算書」の作成④「仮称」まるがめ応援市民」について

川田 匡文

①全国瞬時警報システム（Jアラート）について②丸亀城のお堀の水質浄化③丸亀駅並びに丸亀港周辺の活性化

真鍋 順穂

①本年4月16日執行の市長・市議会議員選挙について②「丸亀市地域防災計画と防災対策について」——市民の生命・財産は守れるか——

加藤 正員

①「第2次丸亀市総合計画」について

福部 正人

①自殺対策の相談窓口の充実及び周知の施策②公共交通における住民目線の施策③犬の糞放置

対策④紙おむつごみの無料収集

⑤丸亀城周辺の市営駐車場に誘導する案内看板の設置の充実⑥

放課後留守家庭児童会の一日利用制度の導入⑦学校図書館への

新聞配備推進

①市長公約である市民会館②飯

野・垂水コミュニティセンター

について③幼児教育無償化

①「市民相談室」「まる育サポート室」について②「地場産

業」「文化」「観光」に活かせる丸亀の海辺開発について③ス

ポーツ振興について④博物館構

想

①丸亀市長・市議会選挙につい

て②安全・子育て支援③水道広

域化

①大学誘致②企業誘致③中央保

育所の建て替え

①「臨時保育士」の待遇への

考え方②都市公園法改正による「新しい保育所」③小中

学校の先生方の過酷勤務と地域からのサポート④ため池は

「お荷物」か「お宝」か？⑤

ユニバーサルな選挙

①くらしを支える公共交通網

をつくるために②子育て支援の充実

①丸亀駅前放置自転車対策②

市長・市議会議員選挙周知③

丸亀市指定ゴミ袋④児童相談所全国共通ダイヤル「189」の周知

内田 俊英

育所の建て替え

①「臨時保育士」の待遇への

考え方②都市公園法改正による「新しい保育所」③小中

学校の先生方の過酷勤務と地域からのサポート④ため池は

「お荷物」か「お宝」か？⑤

ユニバーサルな選挙

①くらしを支える公共交通網

をつくるために②子育て支援の充実

①丸亀駅前放置自転車対策②

市長・市議会議員選挙周知③

丸亀市指定ゴミ袋④児童相談

所全国共通ダイヤル「189」

の周知

議会に関する意見・感想を募集します。

【連絡先】
丸亀市議会事務局
TEL 24-8828
丸亀市大手町2-3-1



メールアドレス
gikai@city.marugame.lg.jp

南中学校区 公園整備は

Q 武田議員 都市公園は、子供の遊び場や年長者の生涯スポーツの交流の場、さらには災害時の一時避難地として地域での活用が期待されるが、南中学校区での都市公園整備の計画と今後の市の考えを伺う。

A 市長 本市緑の基本計画において、南中学校区のはとんどの地域で優先的に公園の整備を進めることとしている。現時点では、新規に公園整備を行う具体的計画はないが、本年度はくるりん広場に幼児用遊具を設置



くるりん広場

し、子育て世代が利用しやすい公園の整備を行う。今後の公園整備においては財政面を考慮し、空き地の有効活用や地域住民が関わることでできる仕組みを検討したい。

飯山南コミュニティセンター 整備スケジュールは

Q 竹田議員 国道438号バイパス整備により移転となる飯山南コミュニティセンターの整備スケジュールは。また、地域の意見、要望を話し合える場はあるのか。

A 市長 平成30年から31年度にかけての2年で造成及び建築工事を行い、32年度には新センターの供用を開始したいと考えている。地域と話し合う場としては、昨年9月に地域の意見、要望を取りまとめる地元組織として移転整備委員会が設立され、地域としての一体的な意見や要望の取りまとめが行われている。今後、施設の基本設計を策定していく中で、整備委員会と協議を重ね、広く関係者の意見や要望を反映していきたいと考えている。

多世代交流の 場所づくりを



飯山南コミュニティセンター

Q 東議員 多世代が交流することにより、子供の情緒形成や高齢者の生きがいづくりなど、様々な効果があると思うが、本市では現在どのような交流の場があるのか。また、今後の取り組みについて示されたい。

A 市長 現在、ふれあい・いきいきサロン助成事業により、高齢者や障害者、子育て世帯などが気軽に参加できる地域の触れ合い、支え合いの場作りを推進している。平成28年度には、市

内17地区、123カ所で開催され、世代を超えて親睦を深めている。社会福祉協議会では空き店舗などを活用した多世代交流サロンの運営ができないか検討しているため、市も連携を図り今後も支援していきたい。

子育て支援に 学校給食の無償化を

Q 大西議員 子育て支援策として、学校給食費の無償化を実現する自治体が徐々に増えてきている。本来は国の責任で行うべきであると考えているが、国の実施を待つことなく本市独自に無償化に取り組むことについて、市長の考えは。

A 市長 学校給食費の無償化は、財源面を考慮すると実施は難しいが、給食費を含めた学校納付金の値下げを目指したい。学校納付金の値下げは、将来にわたり毎年度多額の経費負担が見込まれ、実施には他の事務事業の相当額の廃止や見直し等を行う必要もあるので、それらを踏まえて慎重な検討が必要と考えている。今後とも長期的視点を持ち、検討していきたい。

綾歌市民総合センター 改修工事について問う

Q 香川議員 綾歌市民総合センターの耐震改修工事について、工事期間や代替施設の周知が不足していると思うが、どう取り扱うのか。また、併設する栗熊コミュニティセンターも省エネ対策や高齢者などに配慮した改修を行うべきと考えるが、市の考えは。

A 総務部長 工事の周知は広報や同センター内で行ってきたが、不十分であるとの指摘を踏まえ、今後広報やホームページ



耐震改修工事予定の綾歌市民総合センター

でお知らせするとともに、綾歌地域内にチラシ配布を行う予定である。現時点では、9月から約1年間の工事を予定しており、9月19日より綾歌保健福祉センターを仮庁舎として業務を行う。

A 生活環境部長 省エネ対策として、天井の改修にあわせた照明のLED化、太陽光発電装置の新設を予定している。また、傾斜が急なスロープの付け替えやトイレの洋式化など、様々な年代の方が利用しやすい環境づくりに努める。

築城420周年イベント 参加者増やす取り組み

Q 水本議員 9月に開催される丸亀城築城420周年記念イベントにおいて、昨年好評だった「みちあかりプロジェクト」のように、商店街や中津万象園庭園にちようちんなどの明かりを置き、イベント参加者の増加を図ってはどうか。

A 産業文化部長 今年のみちあかりプロジェクトは民間主体のイベントとして11月に開催を予定しており、中津万象園も安全

一般質問

面の理由から夜間開館は難しいと聞いている。しかし、各団体の実施する事業と連携することは、にぎわい創出に有効であるので、みちあかりプロジェクトにあわせた石垣のライトアップなど、連携した取り組みができないか検討したい。

海の駅・新市民会館で にぎわいづくりを

Q 川田議員 丸亀港フェリーターミナルやうちわの港ミュージアム周辺を海の駅として一体整備することや、新市民会館を福島駐車場、みなと公園の市有地に設置することで、駅周辺のにぎわい創出につながると考えるが、市の考えは。

A 都市整備部長 海の駅などで地域資源を一体的に活用することで集客性や回遊性を高めるという提案は、今後のまちづくりを考える際の参考としたい。

また市民会館の設置場所は、周辺環境や現在のみなと公園の利用状況を考えると、提案の場所は最適とは言えないが、今後、特別委員会などでさらに検討を加え、結論付けたい。



京極大橋からみなと公園付近を望む

避難所の運営は 備蓄品の確保は

Q 真鍋議員 災害時の避難所は、緊急避難場所であるとともに、仮の生活を送る避難所としての役割もあるが、施設や備蓄品の確保はできているのか。

A 市長 本市の避難所のうち、仮の生活を送る避難所は94施設、要配慮者が利用の対象となる福祉避難所は22施設指定されている。今後も新たな福祉避難所の指定に努めるほか、避難所運営マニュアルにおいて、乳幼児のいる世帯や女性への配慮を定めるなど課題の解決に努めた